

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		創造都市・文化振興課
	06	01	01	02	01	

政策
音楽のあふれるまちづくり

政策の内容

浜松国際ピアノコンクールに加え、多様なジャンルの音楽文化を取り込んだ事業を展開し、新たに音楽活動を始め
る人材、世界で活躍する音楽人材の育成を進めます。
様々な文化芸術活動を行う場や発表の場を整備、提供し、市・企業・市民など多くの実施主体による音楽活動によ
り、年間を通じて、市域全体に音楽のあふれるまちづくりを推進します。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
芸術・文化の場	あなたの暮らしている地域では、音楽 や芸術を鑑賞できる場や文化活動に 参加できる場が整っていると感じます か。	2.68	2.77				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

・音楽の都・浜松を目指す本市において扱う音楽のジャンルは「クラシック」「吹奏楽」「合唱」が主で、軽音楽のジャン
ルに関わる事業が少ない。音楽文化の裾野を拡大するため、ジャンルの拡大やアウトリーチ事業により音楽あふれ
るまちづくりを展開する。
・アクトシティ浜松のA・C・Dゾーンにおいて、2019年度に策定した2021年度～2030年度までの10年間の休館を伴う
大規模修繕計画を基に、ゾーンごと設計を行い、順次工事に着手することとなるが、今後の建設資材の物価上昇や
人件費の変動などを予測できないため、コストが大幅に増加する恐れがある。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	2,923,940				
決算	2,798,278				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	10.0				
会計年度任用職員	0.0				
暫定再任用職員(31時間勤務)	0.0				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
浜松国際ピアノ コンクール事業	世界各国の新進ピアニストに日頃の研鑽の成果を競い合う機会を与え、その育成を図ることにより、音楽文化の振興と国際交流の推進に寄与することを目的とし、「音楽の都・浜松」を世界に向けて発信する。 1.第12回浜松国際ピアノコンクールの優勝者・入賞者ツアー開催	18,722
		15,933
浜松吹奏楽大会 開催事業	国際的な視野をもって吹奏楽の普及と地域レベルの向上のため、全日本高等学校選抜吹奏楽大会、全日本中学生交流コンサートの2事業を開催する。 1.第14回全国中学生交流コンサート 2.プロムナードコンサート 3.第38回全日本高等学校選抜吹奏楽大会	14,305
		12,029
浜松市文化顧問 事業	浜松市文化顧問の設置に関する要綱に基づき、専門的立場から浜松市の進める音楽、歴史及びその他の分野における、文化に関するまちづくり事業に関し助言し、または指導する、浜松市文化顧問を設置する。	1,000
		1,000
さくま国際交流コ ンサート等開催 事業	音楽文化を発信し、国内外との文化交流を促進するとともに、音楽活動を通じた人材育成のため、元ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のカール・ヤイトラー氏を招聘し、さくま国際交流音楽指導講座を開催する。 1.さくま国際交流音楽指導講座事業 2.佐久間吹奏楽クラブ育成事業	2,645
		2,709
音楽文化都市交 流事業(負担金)	互いの音楽文化を尊重しつつ、音楽人材の交流をすすめ、国内外への情報発信の連携等を通じて音楽文化を振興するため、音楽文化都市交流を行う。 1.札幌市との音楽文化都市交流事業	2,888
		1,946
まちなかコンサ ート開催事業	市内各区の(中心)市街地において以下のコンサートを実施し、音楽を通してより多くの市民と交流する機会を提供するとともに、一般市民が気軽に音楽に触れ、楽しむ機会を提供する。 1.プロムナードコンサート 2.街かどコンサート 3.まちなかにぎわいコンサート	17,197
		17,453
企業と共催する 音楽事業	企業との共催による多様なジャンルのコンサートの開催する。 1.ハママツ・ジャズ・ウィーク開催事業 2.プラタナスコンサート開催事業 3.中部日本吹奏楽コンクール本大会開催事業	9,400
		12,400
アクトシティオル ガンミニコンサ ート開催事業(負担 金)	アクトシティ浜松中ホールの附帯設備であるオルガンのミニコンサート等を開催することにより、オルガンの音色や中ホールの雰囲気より多くの市民に知っていただくとともに、音楽を楽しむ場を提供する。	2,750
		2,657

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
文化芸術振興事業	アクトシティ浜松をはじめとする文化施設を拠点とした文化芸術振興に資する事業開催する。 質の高い舞台芸術の提供、世界に向けた音楽文化の発信、音楽文化における浜松の次代を担う人材の育成、市民との協働による創造的な文化芸術の振興	53,125
		53,125
教育文化奨励事業	「浜松市教育文化奨励賞の授与に関する要綱」に基づき、文化芸術及び教育の振興を図るとともに、市民等の活動を奨励し、及び市民意識の高揚に資するため、「地域文化賞」及び「浜松ゆかりの芸術家」を授与する。	453
		528
文化芸術部門発表会等出場者激励事業	市民の芸術文化活動の振興と、文化都市浜松を全国に発信することを目的として、全国大会出場者の大会での活躍を祈念し、士気を高めるため、激励の場を設け、激励金を交付する。	1,300
		1,107
アクトシティ音楽院事業	アクトシティ音楽院の設置により、浜松市が進める音楽のまちづくりに資するため、音楽界で活躍する人材の育成を図るとともに市民に音楽文化に関する生涯学習の機会と情報を提供する。 1.コミュニティコース開催事業・音楽院修了生公演事業 2.管楽器アカデミー&フェスティバル開催事業負担金 3.パークリー音楽大学事業負担金	42,215
		41,495
青少年音楽団体育成事業	音楽のまちづくりの一環として、青少年によるオーケストラ、合唱団を育成することで、青少年の頃から音楽文化に親しみ学ぶ機会を提供し、文化的・国際的に活躍できる豊かな感性を持った音楽のまちづくりの担い手を育成する。 1.ジュニアオーケストラ浜松育成事業 2.ジュニアクワイア浜松育成事業 3.さくまジュニア吹奏楽講座事業	28,770
		28,763
こども音楽鑑賞教室開催事業	児童とプロオーケストラの共演等により本物の音楽に触れるこども音楽鑑賞教室等の開催に対する負担金 1..こども音楽鑑賞教室開催事業 2.「こころの劇場」ファミリーミュージカル開催事業	22,067
		20,632
管楽器再生・活用事業	市民主体で築く、小学生世代のこどもたちを対象とした音楽活動・育成活動等を促進する環境整備の一環として、小学校で使われなくなった管楽器を再生し、活用する。 1.管楽器再生(令和5～6年度)※終了 2.管楽器貸出(令和6年度～) 3.管楽器体験教室(令和6年度～) 4.管楽器アップサイクル(令和6年度～)	3,999
		2,064

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
音楽のあふれる まちづくり発信事 業	軽音楽分野の音楽祭の開催等、若年層を対象とした、気軽に音楽に触れ・体験することのできる機会を提供することで、音楽に関心を持つきっかけを創出するとともに音楽人材を育成する。 1.中高生を対象とした軽音楽祭開催事業 2.出張ランチタイムコンサート開催事業 3.HAMAMATSU JUNIOR CHORUS FESTIVAL開催事業 4.ジェイミーのコンサート開催事業 5.地域音楽交流会等開催事業	15,356
		15,502
文化施設管理事 業	1. アクトシティ浜松、楽器博物館、文芸館、旧浜松銀行協会、茶室、復興記念館、天竜ものづくり継承施設、鴨江アートセンター、市民音楽ホールを安全かつ効率的に運営し、本市における芸術文化の拠点としての役割を果たすため、施設の管理運営を実施 2. アクトシティ浜松の安全な利用及び機能充実のため、計画的な施設設備の更新等を行うアクトシティ浜松整備事業の実施 3. その他文化施設の安全な利用及び機能充実のため、計画的な施設設備の更新等を行う文化施設整備事業を実施	2,687,748
		2,563,977
地域創造支援事 業(負担金)	芸術文化くじの発売計画に基づく、一般財団法人地域創造に対する負担金	4,958
		4,958

※予算・決算は各事業に係る経費を計上



②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
文化振興施設利 用者数(人)	アクトシティ浜松A・C・D ゾーン、市民音楽ホー ル、鴨江アートセンター、 旧浜松銀行協会、茶室 「松韻亭」利用者数	市民により広く文化芸術に触れ る機会を提供する事業への参 加者数が反映する数値である ため	目標値	-	850,000	860,000	870,000	880,000	890,000
			実績値	844,267 (2023 年度)	2026年 12月確 定				
			達成率	-	-				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
文化振興施設稼働率(%)	アクトシティ浜松A・C・Dゾーン、市民音楽ホール、鴨江アートセンター、旧浜松銀行協会、茶室「松韻亭」稼働率	市、市以外の民間分野が一体となって、市民により広く文化芸術に触れる機会を提供することで向上する数値であるため	目標値	-	48	51	54	57	60
			実績値	45.4 (2023 年度)	2026年 12月確定				
			達成率	-	-				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
文化芸術施設利用者数(人)	○	文化振興担当所管施設の 利用者数(施設カルテ)	実績値	4,207,42 ⁵ (2022 年)	2026年 12月確定					4,300,000
			達成率	98%	-					
			実績値							
			達成率							
			実績値							
			達成率							

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

誰もが文化、芸術、歴史の魅力に触れ、学び、楽しみ、新たな文化が創出されている。
多様な文化、芸術、歴史の活動を担う人材が育ち、活躍している。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
浜松国際ピアノコンクール事業	世界各国の新進ピアニストに日頃の研鑽の成果を競い合う機会を与え、その育成を図ることにより、音楽文化の振興と国際交流の推進に寄与することを目的とし、「音楽の都・浜松」を世界に向けて発信する。 1.第12回浜松国際ピアノコンクールの優勝者・入賞者ツアー開催(全27公演 23,051人)	音楽文化の振興と国際交流の推進に寄与することを目的とし、引き続き、「音楽の都・浜松」を世界に向けて発信する。
浜松吹奏楽大会開催事業	国際的な視野をもって吹奏楽の普及と地域レベルの向上のため、全日本高等学校選抜吹奏楽大会、全日本中学生交流コンサートの2事業を開催する。 1.第14回全国中学生交流コンサート(入場者数1,183人) 2.プロムナードコンサート(入場者数1,071人) 3.第38回全日本高等学校選抜吹奏楽大会(入場者数2,850人) YouTube配信視聴回数(プロムナードコンサート22,047回、第38回全日本高等学校選抜吹奏楽大会60,109回)	国際的な視野をもって吹奏楽の普及と地域レベルの向上のため、引き続き、全日本高等学校選抜吹奏楽大会、全日本中学生交流コンサートの2事業を開催する。
浜松市文化顧問事業	浜松市文化顧問の設置に関する要綱に基づき、専門的立場から浜松市の進める音楽、歴史及びその他の分野における、文化に関するまちづくり事業に関し助言し、または指導する、浜松市文化顧問を設置する。 (文化事業への助言及びスペイン・バルセロナ、フランス・パリ、ドイツ・シュトゥットガルト外12都市のコンサートなどで浜松市の文化事業をPR)	浜松市の進める音楽、歴史及びその他の分野における、文化に関するまちづくり事業への助言等が必要のため、引き続き、浜松市文化顧問を設置する。
さくま国際交流コンサート等開催事業	音楽文化を発信し、国内外との文化交流を促進するとともに、音楽活動を通じた人材育成のため、元ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のカール・ヤイトラー氏を招聘し、さくま国際交流音楽指導講座を開催する。 1.さくま国際交流音楽指導講座事業 2.佐久間吹奏楽クラブ育成事業 (演奏指導183人、学校等訪問45人、交流コンサート330人)	音楽文化を発信し、国内外との文化交流を促進するとともに、音楽活動を通じた人材育成のため、引き続き、さくま国際交流音楽指導講座を開催する。
音楽文化都市交流事業(負担金)	互いの音楽文化を尊重しつつ、音楽人材の交流をすすめ、国内外への情報発信の連携等を通じて音楽文化を振興するため、音楽文化都市交流を行う。 1.札幌市との音楽文化都市交流事業 (児童合唱団(団員20名)を派遣し、札幌市立中学校と交流を行うとともに、さっぽろアートステージ2025「さっぽろスクール音楽祭」へ出演)	互いの音楽文化を尊重しつつ、音楽人材の交流をすすめ、国内外への情報発信の連携等を通じて音楽文化を振興するため、音楽文化都市交流を継続する。
まちなかコンサート開催事業	市内各区の(中心)市街地において以下のコンサートを実施し、音楽を通してより多くの市民と交流する機会を提供するとともに、一般市民が気軽に音楽に触れ、楽しむ機会を提供する。 1.プロムナードコンサート(25回開催予定中17回開催、雨天中止8回) 会場:JR浜松駅北口広場「キタラ」、なゆた浜北駅前広場 外 2.街かどコンサート(1回開催予定中1回開催) 会場:浜松市ギャラリーモール「ソラモ」 3.まちなかにぎわいコンサート(5回開催予定中5回開催) 会場:JR浜松駅北口広場「キタラ」	音楽を通してより多くの市民と交流する機会を提供するとともに、一般市民が気軽に音楽に触れ、楽しむ機会を引き続き提供する。
企業と共催する音楽事業	企業との共催による多様なジャンルのコンサートの開催する。 1.ハママツ・ジャズ・ウィーク開催事業(関連イベント入場者数18,337人) 会場:アクトシティ浜松大ホール 外 2.プラタナスコンサート開催事業(入場者数800人) 会場:浜松市ギャラリーモール「ソラモ」 3.中部日本吹奏楽コンクール本大会開催事業(入場者数4,185人) 会場:アクトシティ浜松中ホール	関係企業と連携し、共催による多様なジャンルのコンサートを引き続き開催する。

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
アクトシティオルガンミニコンサート開催事業(負担金)	アクトシティ浜松中ホールの附帯設備であるオルガンのミニコンサート等を開催することにより、オルガンの音色や中ホールの雰囲気より多くの市民に知っていただくとともに、音楽を楽しむ場を提供する (ミニコンサート(4回)入場者1,214人、関連講座(1回)参加者78人)	オルガンの音色や中ホールの雰囲気より多くの市民に知っていただくとともに、音楽を楽しむ場を提供するため、引き続きミニコンサート等を開催する。
文化芸術振興事業	アクトシティ浜松をはじめとする文化施設を拠点とした文化芸術振興に資する事業を開催する。 (質の高い舞台芸術の提供、世界に向けた音楽文化の発信、音楽文化における浜松の次代を担う人材の育成、市民との協働による創造的な文化芸術の振興) (公演等の事業 入場者6,535人、芸術文化活動及び創造活動の交流促進事業 入場者39,645人)	アクトシティ浜松をはじめとする文化施設を拠点とし、継続して、文化芸術振興に資する事業を開催する。
教育文化奨励事業	「浜松市教育文化奨励賞の授与に関する要綱」に基づき、文化芸術及び教育の振興を図るとともに、市民等の活動を奨励し、及び市民意識の高揚に資するため、「地域文化賞」及び「浜松ゆかりの芸術家」を授与する。 (地域文化賞 受賞者3名及び1団体、浜松ゆかりの芸術家 Jam9)	「浜松市教育文化奨励賞の授与に関する要綱」に基づき、引き続き「地域文化賞」及び「浜松ゆかりの芸術家」を授与する
文化芸術部門発表会等出場者激励事業	市民の芸術文化活動の振興と、文化都市浜松を全国に発信することを目的として、全国大会出場者の大会での活躍を祈念し、士気を高めるため、激励の場を設け、激励金を交付する。 (36団体、467名)	全国大会出場者の大会での活躍を祈念し、士気を高めるため、激励の場を設け、激励金を交付する。
アクトシティ音楽院事業	アクトシティ音楽院の設置により、浜松市が進める音楽のまちづくりに資するため、音楽界で活躍する人材の育成を図るとともに市民に音楽文化に関する生涯学習の機会と情報を提供する。 1.コミュニティコース開催事業(計8事業 受講者数31,797人)・音楽院修了生公演事業(計10回 入場者数2,049人) 2.管楽器アカデミー & フェスティバル開催事業負担金(アカデミー6クラス 受講生50名 聴講生94名、オープニングコンサート 入場者数850人、特別講座 入場者数152人、教授陣受講生アンサンブルコンサート 入場者数278人) 3.パークリー音楽大学事業負担金 (市内高校にてジャズクリニックを開催 受講生80人)	音楽界で活躍する人材の育成を図るとともに市民に音楽文化に関する生涯学習の機会と情報を引き続き提供する。
青少年音楽団体育成事業	音楽のまちづくりの一環として、青少年によるオーケストラ、合唱団を育成することで、青少年の頃から音楽文化に親しみ学ぶ機会を提供し、文化的・国際的に活躍できる豊かな感性を持った音楽のまちづくりの担い手を育成する。 1.ジュニアオーケストラ浜松育成事業(令和8年3月末団員数98名) (定期演奏会 入場者数877人、スプリングコンサート 入場者数1,220人) 2.ジュニアクワイア浜松育成事業(令和8年3月末団員数98名) (定期演奏会 入場者数43人、スプリングコンサート 入場者数1,220人) 3.さくまジュニア吹奏楽講座事業	青少年によるオーケストラ、合唱団を育成することで、青少年の頃から音楽文化に親しみ学ぶ機会を提供し、文化的・国際的に活躍できる豊かな感性を持った音楽のまちづくりの担い手を引き続き育成する。
こども音楽鑑賞教室開催事業	児童とプロオーケストラの共演等により本物の音楽に触れるこども音楽鑑賞教室等の開催に対する負担金 1.こども音楽鑑賞教室開催事業 (入場者数 児童5,619人 一般644人 その他342人) 2.「こころの劇場」ファミリーミュージカル開催事業 (入場者数 7,090人)	児童とプロオーケストラの共演等により本物の音楽に触れるこども音楽鑑賞教室等を引き続き開催する。

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
管楽器再生・活用事業	市民主体で築く、小学生世代のこどもたちを対象とした音楽活動・育成活動等を促進する環境整備の一環として、小学校で使われなくなった管楽器を再生し、活用する。 1.管楽器再生(令和5～6年度)※終了 2.管楽器貸出(令和6年度～)(52本) 3.管楽器体験教室(令和6年度～)(4回) 4.管楽器アップサイクル(令和6年度～)(参加者 18人)	市民主体で築く、小学生世代のこどもたちを対象とした音楽活動・育成活動等を促進する環境整備の一環として、小学校で使われなくなった管楽器を再生し、活用する。
音楽のあふれるまちづくり発信事業	軽音楽分野の音楽祭の開催等、若年層を対象とした、気軽に音楽に触れ・体験することのできる機会を提供することで、音楽に関心を持つきっかけを創出するとともに音楽人材を育成する。 1.中高生を対象とした軽音楽祭開催事業(出演バンド12組、入場者数469人) 2.出張ランチタイムコンサート開催事業(開催回数5回) 3.HAMAMATSU JUNIOR CHORUS FESTIVAL開催事業(コンサート入場者数677人、交流会参加者数112人) 4.ジェイミーのコンサート開催事業(入場者数140人) 5.地域音楽交流会等開催事業(2会場 計773人)	音楽に関心を持つきっかけを創出するとともに音楽人材を育成するため、軽音楽分野の音楽祭の開催等、若年層を対象とした、気軽に音楽に触れ・体験することのできる機会を引き続き提供する。
文化施設管理事業	1. アクトシティ浜松、楽器博物館、文芸館、旧浜松銀行協会、茶室、復興記念館、天竜ものづくり継承施設、鴨江アートセンター、市民音楽ホールを安全かつ効率的に運営し、本市における芸術文化の拠点としての役割を果たすため、施設の管理運営を実施 2. アクトシティ浜松の安全な利用及び機能充実のため、計画的な施設設備の更新等を行うアクトシティ浜松整備事業の実施 3. その他文化施設の安全な利用及び機能充実のため、計画的な施設設備の更新等を行う文化施設整備事業を実施	アクトシティ浜松をはじめとする文化施設の計画的な施設設備更新等を行うとともに、適切な管理運営を継続する。
地域創造支援事業(負担金)	芸術文化くじの発売計画に基づく、一般財団法人地域創造に対する負担金	継続し負担する。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	要
音楽のあふれるまちづくりの象徴的且つ縮図的な施設であるアクトシティ浜松に限定した利用者数のほうが経年で成果を図る数値としてふさわしいため、2026年度計画から「アクトシティ浜松A・C・Dゾーン利用者数」に見直す。	

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	要
アクトシティ浜松と茶室等規模や利用形態が違ふ施設の稼働率の平均では数値が低いものに引っ張られやすいため、音楽のあふれるまちづくりの象徴的且つ縮図的な施設であるアクトシティ浜松に限定した利用率のほうが経年で成果を図る数値としてふさわしいため、2026年度計画から「アクトシティ浜松A・C・Dゾーン利用率(利用日数/利用可能日数)」に見直す。	

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

2025年度は、音楽のあふれるまちづくり発信事業によるアウトリーチ事業の拡大により、音楽文化の裾野拡大を実現することができた。 2026年度以降の方向性は、既存事業を継続し、音楽文化の振興と音楽人材の育成を図る。また、アクトシティ浜松の大規模修繕工事では、コスト管理を徹底した上で、計画的に工事を進めていく。アクトシティ浜松の休館中は、市内他施設の活用やアウトリーチ事業の更なる拡大により、音楽文化活動が停滞することのないような取り組みを行う。さらに、市民・企業との連携を深め、年間を通じた音楽文化発信体制を整備し、音楽のあふれるまちづくりを持続的に推進する。
--